

# パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2021年2月1日 209号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



第3の池で、多くの卵を持ったメスを見つけたマグノ教授。右より、岩澤所長、滝川君、水落氏。2020年12月15日

## パクー人工孵化、稚魚約25万匹に

今季もパクーの繁殖期にあたり、レダ基地スタッフが総力を挙げて人工孵化に取り組みました。優秀な親魚を育成すること、その中でも特に健康状態や発育の優れた個体を選定すること、採卵と授精の最適なタイミングを見計ること、孵化器内外の環境条件を着実に管理すること、等々。生きものを誕生させ、育てるのですから、夜も昼もありません。もちろん、暮れも正月もありません。誕生した仔魚は、スタッフ一同が寝ずの番に当たり、交代で守り育てます。

国立アスンシオン大学のマグノ教授は、12月9日にレダ基地に到着すると、同15日の出発直前まで、養殖の知識、経験、ノウハウなど、自分が長い年月をかけて培ったすべての実践的な資産を、レダ基地のスタッフに精力的に伝授してゆかれました。また、岩澤所長をはじめ、養殖担当の青年たちはもとより、スタッフ全員と作業員も真剣に教授から学び取りました。

以前よりマグノ教授はレダに熱い思いを寄せておられますが、今回もレダのメンバーたちと共に生活し、クリスマス会ほかの行事を共に楽しみ、「レダは自分のホームのようだ」と言われました。

12月16日、今季一回目の孵化に成功。仔魚は孵化器の中で順調に成長し、同23日に養殖池に入れました。推定約3万7千匹です。続いて、28日に再びパクーの有望な親魚を取り出し、翌29日の朝、4匹のメスから



成熟卵に授精する。2020年12月29日

採卵、授精を経て孵化させました。仔魚は順調に成長し、1月5日、20万匹を越える稚魚を養殖池に入れることができました。いつもながら、野鳥対策として、池の上にはテグス糸を張りめぐらせてあります。

今回誕生した稚魚が無事に成長し、市場に健康で美味しいパクーを供給できるよう祈っています。



皆でクリスマス会のアサド(焼肉)を楽しむ。12月13日



母魚候補を取り出すマグノ教授。12月10日



バクーから採卵する。12月29日



滝川君が産卵促進の注射。12月28日



研究室で毎日午後にはマグノ教授と学習会。



バクーの稚魚を養殖池に入れる。1月5日



孵化器から稚魚を出す。1月5日



受精卵を孵化器に入れる。12月29日



エビを観察する川久保君。1月6日



池の上に野鳥除けのテグスを張る。1月6日



仔魚を観察する水落氏。12月29日



ルスちゃんとノブ。12月22日



絵が得意なパブロ Jr. 君。1月5日



パブロ・チャベスさんの家族がレダに。12月20日

●**図師義継（ずしよしつぐ）氏**は、シニアボランティアとして、一昨年12月から1年間レダで活動し、去る12月10日に元氣よく帰国されました。レダでは果樹や花木の剪定、タロイモ栽培などを担当し、熱心に奉仕されました。以下、1月9日の定例集会で図師氏が報告された内容を、2回に分けて掲載します。

### 「地獄」を覚悟して赴いたレダは・・・

私は1950年8月に熊本で生まれ、佐世保で育ちました。社会人になって、重工業の会社に半年間、工作機械の会社に14年、造園会社に23年勤めました。一昨年、高橋昭三ご夫妻から強く勧められ、4月末のワンデイセミナーに参加したのですが、その最後のプログラムで感想発表を求められたことから、結局それがレダに行く決意表明になりました。

●**出発**・・・2019年12月10日、青年の滝川君と共に、レダに出発しました。レダに赴くにあたり、3か月程度の短期間では本当にプラスの貢献ができるか分からないと思ひ、半年間の奉仕を予定して行きました。ところがコロナ・パンデミックがパラグアイにも及び、ブラジルほどには深刻でなかったものの、感染者や死亡者が出て、ついには国境閉鎖という事態になりました。そのため半年間の滞在予定を3か月延長し、さらに3か月再延長して、1年になりました。結果として、これは良かったと思います。半年で日本に帰っていたら、悔いが残ったことでしょう。



公館のブーゲンビリアを剪定。2019年12月19日

アスンシオンに到着すると、佐野氏が出迎えてくださいました。レダへの道はまだ遠く、ア

スンシオンから夜行バスで8時間、さらに小さなボートに乗ってパラグアイ川を遡ること8時間。お尻が痛くなりました。右手のブラジルのきれいな家並みと、左手のパラグアイの貧しい家屋が対照的でした。またカピバラの群れが水に潜るのを初めて目撃し、新鮮な感動がありました。



大きな木を剪定する図師氏。2020年1月15日



タロイモ田で作業する。2020年5月16日

温度は37℃、38℃になることもありましたが、私がエアコンを使ったのは、一年間で3回だけです。蚊については、夜も防虫ネットを被って寝るのかな、と

●**住環境**・・・レダに到着し、お昼をいただくと、私の部屋に案内されました。その建物はシニアハウスと呼ばれ、個室に豊村氏、青木氏、江頭君が住んでいました。レダは「蚊難（カナン）の地」とか「地獄」とか聞いていたのですが、エアコンもあれば、扇風機も完備しています。室内

想像していたのですが、部屋の中にまで入って来る蚊はごく僅かでした。しかも蚊は一年中多いのではなく、雨季の11月初旬から3月初旬までが最盛期でした。その期間に屋外で作業をしていると、一日に100匹〜200匹の蚊に刺されたと思います。



6月19日 図師氏。6月19日

●**食料と水**・・・食料はとても良く、みそ汁、肉、魚、野菜、果物、ヨーグルトなどもあります。特にバナナは完熟で美味しかったです。振り返ると、ありがたい1年間でした。草創期の開拓を担った先輩たちは、茶色く濁った水を飲みながら「地獄」を生きたのですが、今はきれいで冷たい水をいくらでも飲めるのです。私は屋外での仕事には慣れていましたが、40℃を超えるような日が長く続くと、冷たい水が大きな恵みでした。1年で体重を10kg減らしましたが、この通り元氣です。

●**樹木の剪定**・・・私は23年間植木職人をしていたので、まずその腕を活かして樹木の剪定を任せられました。公館花壇のブーゲンビリアから始まり、研修所花壇、果樹園、植樹園などの樹木を剪定していききました。切るべき部分は直感的に分かりますので、大胆に剪定します。切り過ぎではないかと、人から心配されることもありましたが、適切に枝を透かすことで木々はよく成長し、青々と伸びました。花も一年中よく咲くようになったのです。ただ、そのことに気付いてくれる人と、気付かない人はいました。人の関心事は、人それぞれです。（次号につづく）

## 第7回定時総会を開催、全議案を承認

去る12月26日(土)、午前10時より、神奈川県川崎市の大森街道ふるさと館2階イベントホールにおいて、一般社団法人南北米福地開発協会の第7回定時総会を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、入場者数が通常定員の半数に制限されたほか、万全の予防措置が取られました。

### 一般社団法人 南北米福地開発協会 第七回定時総会

2020年12月26日 10:00～ 大森街道ふるさと館



議案を説明する中田欣宏代表理事。



第7回定時総会にて、中田代表理事と会員たち。(12月26日)

市の大森街道ふるさと館2階イベントホールにおいて、一般社団法人南北米福地開発協会の第7回定時総会を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、入場者数が通常定員の半数に制限されたほか、万全の予防措置が取られました。はじめに戸石文夫理事により、この総会には、出席した会員数と委任状数を合わせた数が会員総数の過半数を超え、本法人の最高決議権を有する総会として成立したことが確認されました。

次いで総会議長の中田欣宏代表理事より、第7期(令和元年10月1日から令和2年9月30日)の事業報告がなされ、出席者の多数をもって承認されました。また、第8期(令和2年10月1日から令和3年9月30日)の事業計画が説明され、同様に承認されました。

引き続き、第7期の決算報告と第8期収支予算計画が説明され、それぞれ同様に承認されました。

最後に高橋昭三監事が、これらすべての報告の内容は事実と認められ、かつ適切であると認められると述べ、午前10時40分、第7回定時総会が終了しました。

## 車両整備のできるボランティア募集

レダ基地において、車両の整備をしていただく方を必要としています。自動車整備士の資格があれば理想的ですが、公認資格がなくても車両整備の経験と技能があれば大丈夫です。ハイテクよりも、むしろローテク(老熟技術)を活用していただける分野です。

現在レダ基地には、2トントラック、四駆ピックアップなどのディーゼル車が数台、ガソリンエンジン車の軽トラック1台があります。大型車両や特殊車両はありません。その他、ディーゼル発電機が4台あり、給油、オイル交換、フィルター類の交換など通常の作業も願われます。経験のある方なら、若者を含め、年齢不問です。詳細については、面談でご説明します。

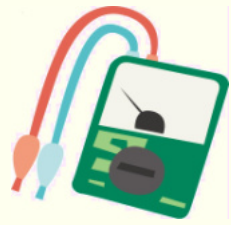


## シニアまたはヤング・ボランティア募集

●電気設備の保守ができるボランティア

レダ基地内の電力線、屋内配線、電動機器、家電、空調、照明などの保守作業をしていただける方も必要です。電気工士か電気主任技術者の資格があれば理想的ですが、持っているなくても実務経験と、ある程度の技能があれば大丈夫です。

レダで使用する電力は、220ボルト、50ヘルツです。電力公社から単相送電線で受電していますが、天候その他の事情でしばしば停電します。そのため、自家発電機4台を備え、基地内の需要に応じて1台を運転します。また数年に一度、屋内配線の絶縁抵抗試験があります。



●美しい大自然の中のボランティア活動。ご関心のある方は、下記事務局までお問い合わせください。

は、役に立つこともありませんが、特に必要ありません。ローテクが活かせる作業がほとんどです。年齢は不問。詳細については面談でご説明します。

IT技術や高度な電子工学の知識は、役に立つこともありませんが、特に必要ありません。ローテクが活かせる作業がほとんどです。年齢は不問。詳細については面談でご説明します。

**一般社団法人  
南北米福地開発協会 事務局**

〒213-0001  
神奈川県川崎市高津区  
溝口3-11-15  
岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821  
FAX: 044-829-2820


支援金振込口座: ゆうちょ銀行  
記号10280 番号61349751  
一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール: office@asd-nsa.com  
ホームページ: https://asd-nsa.com  
Facebook: https://www.facebook.com/ledaproject.jp/

**会員の皆様へ**

会員の皆様には、周囲の方々にレダ・プロジェクトを紹介し、入会の案内をしていただければ幸いです。紹介用のパンフレット(印刷済み)、および入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。

入会申し込みは、左のQRコードから、  
グーグルフォームでも行えます。  
パソコンでは、下記のURLにアクセスしてください。



<https://asd-nsa.com/nk/>

**レダ・プロジェクト紹介用  
パンフレットPDF版**



紹介用パンフレットは、ネットでも入手いただけます。

スマホなどの端末で、または印刷してクリアファイルに入れてどうぞ。



<https://asd-nsa.com/sk/>